

株式会社レナウン 企画部門(マーチャンダイザー)のスキルレベルの把握

会社概要

株式会社レナウンは、1902年に大阪において繊維雑貨卸売業として創業以来、アパレル業界を専門としてビジネス展開してきた企業です。

新しさへ立ち向かうチャレンジ精神を常に持ち続け、ファッションを通じてお客様の新鮮で心豊かなライフスタイルの創造に貢献する「感性創造企業」を目指しています。

問題意識

当社の人事制度は、処遇につながる「職務グレード」の決定に際して、「職業能力評価基準」の考え方に近い「専門スキル要件」というものを活用して人事制度を運用しています。

社内の多くの部門について、部署ごとに必要な要件を作成している一方で、実行性の観点から、職業能力評価基準ほど詳細な内容にはなっていません。

現在運用している「専門スキル要件」のサブツールとして、一般的な業務内容を網羅している「職業能力評価シート」を活用し、職業能力評価シートの試行導入を行いました。これにより、社員のレベル把握や社員自身の気付き、また、今後の人事制度の改善に役立つのではないかと考えています。

具体的な取り組み 活用ツール

当社の中心的な職務のひとつであるマーチャンダイジングに対して、「職業能力評価シート マーチャンダイジング レベル

2,3」を試行導入し、上司、部下によるチェックをおこないました。

試行導入に際して、スムーズに実施できないよう、実際におこなっている業務のみに限定したり、「専門スキル要件」に合わせて構成を変えるなど、当社の業務内容に合わせて職業能力評価シートの能力ユニットを修正しました。

取り組み結果

職業能力評価シートを実際に活用しての印象は、当社でも十分に活用できるというものでした。

特に具体的で詳細な業務を盛り込んで表現している点は、実際に使用した企画部門の社員も担当業務をイメージしやすく、自分が現在どのレベルにいるのかを

理解することができました。

一方で、同じ職種であってもブランドによって業務内容が異なるなど、実際に運用にあたっては職業能力評価シートを柔軟に修正する必要があることが分かりました。

今後の課題と方向性

今後は、職業能力評価基準を参考にしながら、多くの対象者がいる店頭販売職の社員が、よりやりがいを持って働けるような評価と育成の基準を検討していきます。

平成 25 年 3 月

(別添 1) 自社で運用している「専門スキル要件」と「職業能力評価シート」の関係性

